

8. 安全なまちづくり

(1) 犯罪に対する不安

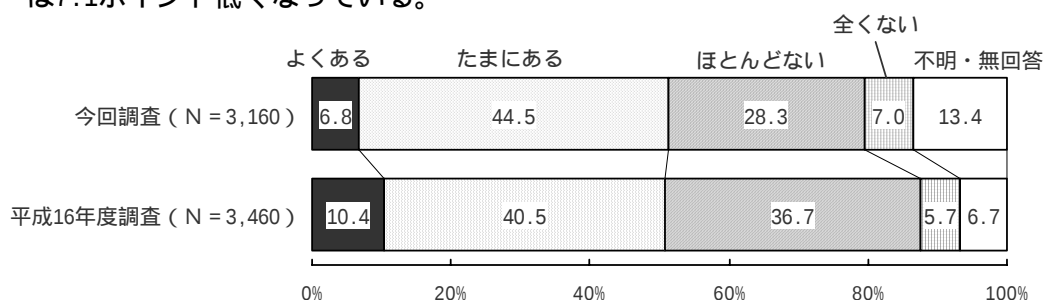
犯罪に対する不安の有無

問32 あなたは日頃、犯罪に遭いそうで不安に感じることがありますか。(○は1つだけ)

■ 犯罪に遭いそうで不安を感じている人は51.3%

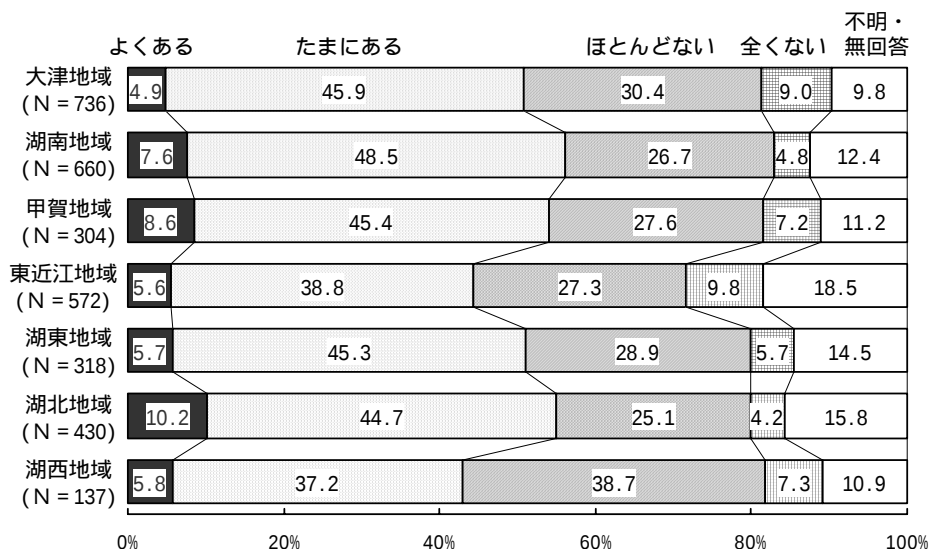
犯罪に遭いそうで不安に感じることがあるかについては、「たまにある」が44.5%と最も多くなっており「よくある」をあわせると、51.3%が『不安がある』と回答している。『不安がない』(「ほとんどない」と「全くない」の合計)は35.3%となっている。

平成16年度調査と比較すると、『不安がある』は0.4ポイント高くなっており、『不安がない』は7.1ポイント低くなっている。



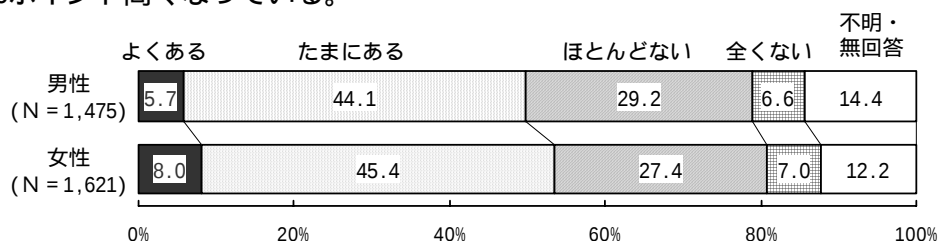
【地域別】

『不安がある』は、湖南地域で56.1%と最も高くなっている。一方、『不安がない』は湖西地域において46.0%と最も高い割合となっている。



【性別】

『不安がある』は、男性では49.8%、女性では53.4%となっており、女性のほうが男性より3.6ポイント高くなっている。



【性・年代別】

『不安がある』は男性の20～40歳代と女性の20～40歳代、60歳代で50.0%より高く、男女ともに40歳代（65.1%、63.1%）で最も高くなっている。男性では30歳代（58.1%）、20歳代（57.5%）、女性では30歳代（62.9%）、20歳代（61.4%）がこれに続いて高い割合となっている。

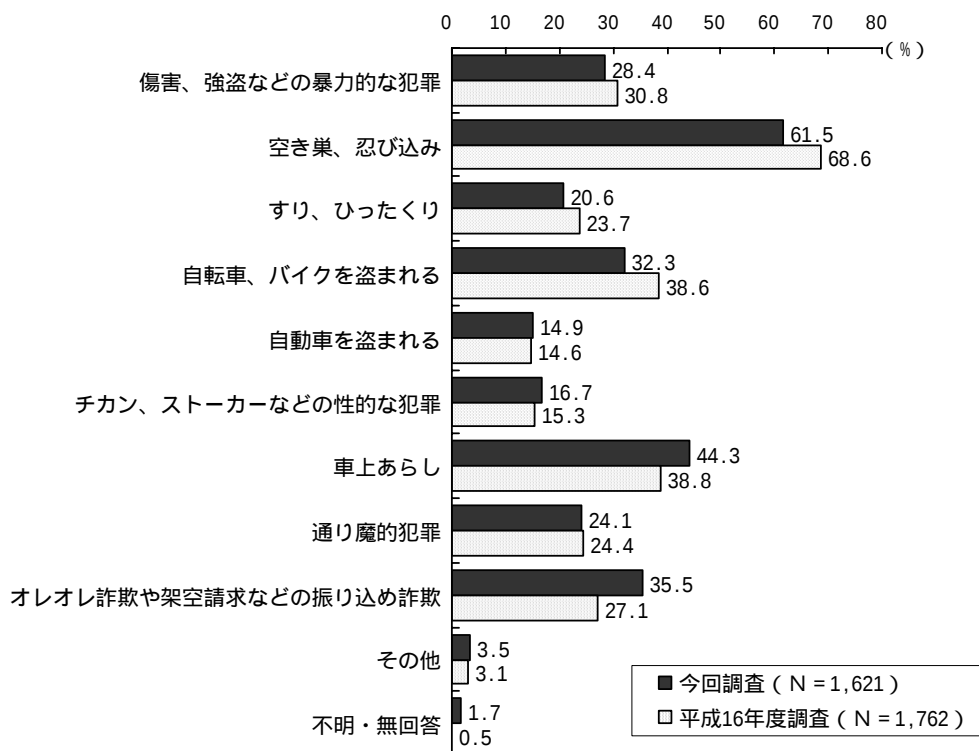
不安を感じたことがある犯罪の種類

付問1 問32で「1 よくある」または「2 たまにある」と回答された方におたずねします。
不安を感じたことがある犯罪の種類とはどのようなものですか。（○はいくつでも）

■ 犯罪に遭いそうで不安を感じたことがある犯罪は「空き巣、忍び込み」が61.5%

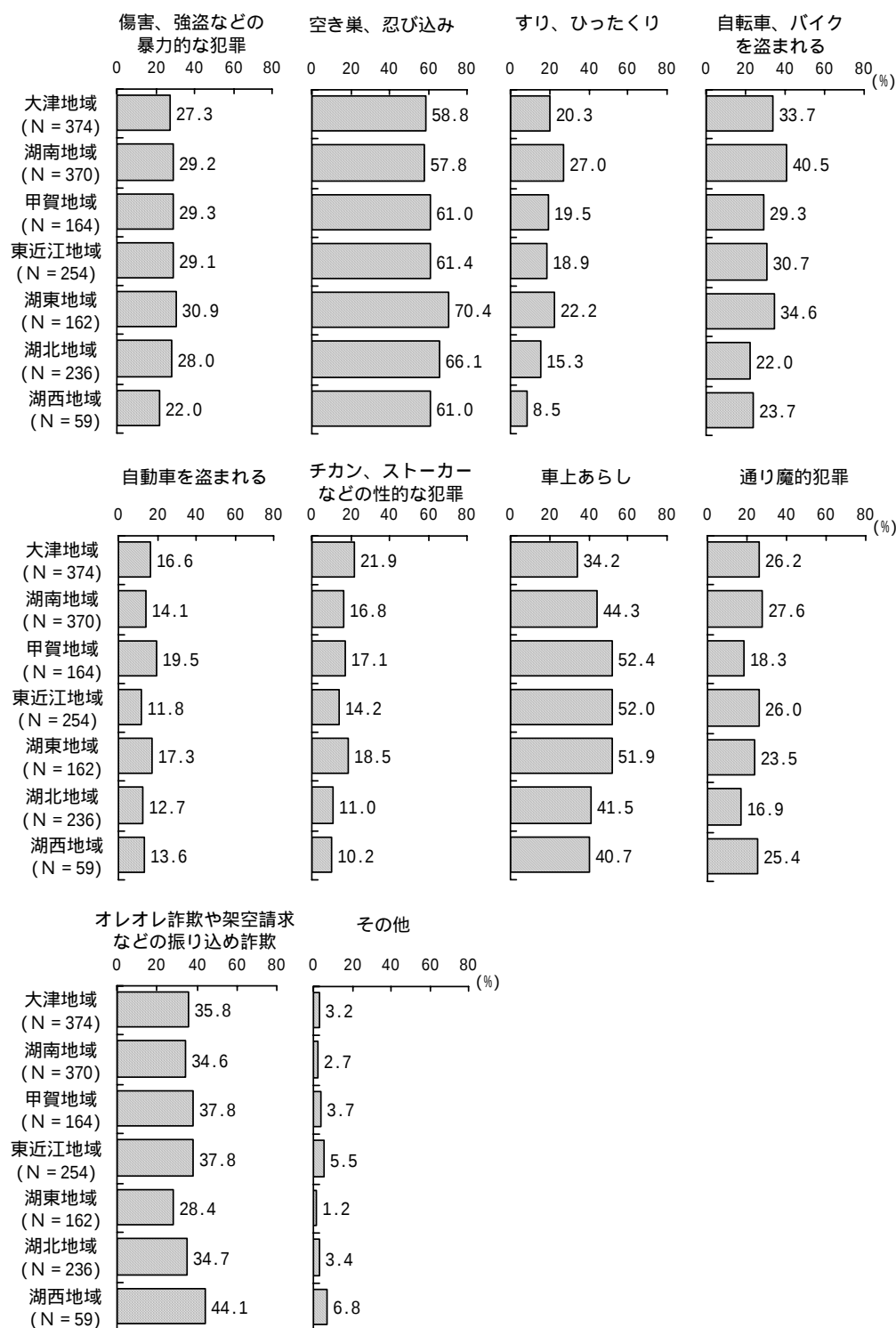
犯罪に遭いそうで不安を感じたことがある犯罪の種類については、「空き巣、忍び込み」が61.5%で最も多く、次いで「車上あらし」が44.3%、「オレオレ詐欺や架空請求などの振り込め詐欺」が35.5%となっている。

平成16年度調査と比較すると、「オレオレ詐欺や架空請求などの振り込め詐欺」が8.4ポイント、「車上あらし」は5.5ポイント高くなり、「空き巣、忍び込み」は7.1ポイント低くなっている。



【地域別】

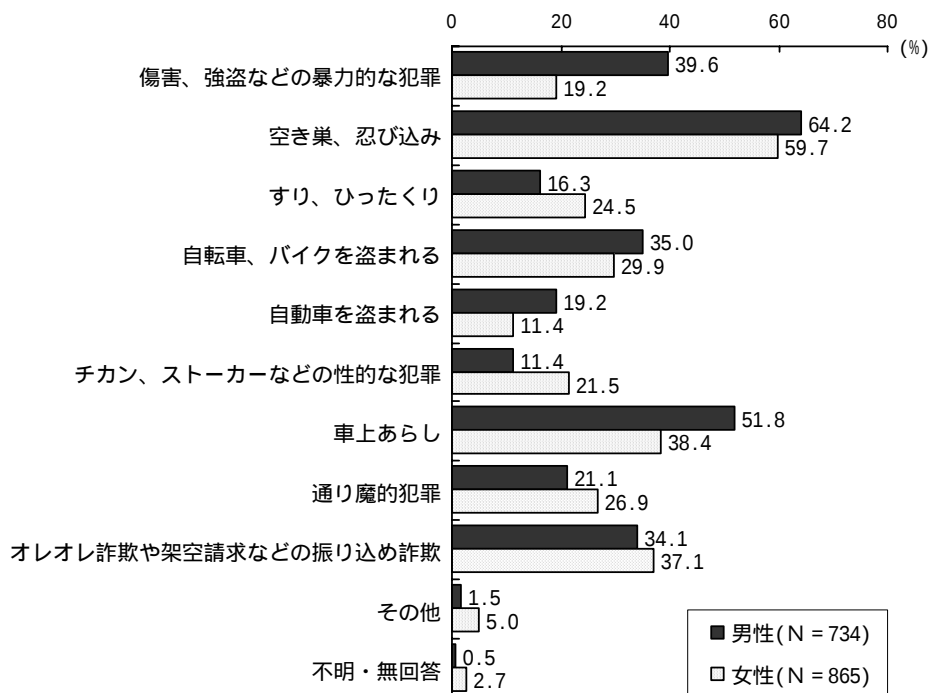
いずれの地域においても「空き巣、忍び込み」が最も多くなっている。「車上あらし」は甲賀・東近江・湖東地域において他地域と比べ高くなっており、「自転車、バイクを盗まれる」は湖南地域で、「オレオレ詐欺や架空請求などの振り込め詐欺」は湖西地域で最も高くなっている。



【性別】

男女ともに「空き巣、忍び込み」がそれぞれ64.2%、59.7%で最も多くなっており、「車上あらし」がこれに次いで多くなっている。

3位は、男性では「傷害、強盗などの暴力的な犯罪」(39.6%)となっている一方、女性では「オレオレ詐欺や架空請求などの振り込め詐欺」(37.1%)となっている。



【性・年代別】

男性の40歳以上、女性の20～60歳代では「空き巣、忍び込み」が最も多く、男性の40歳代で73.2%、60歳代で71.7%となっている。男性の20歳代では「自転車、バイクを盗まれる」が54.8%、30歳代では「車上あらし」が68.4%でそれぞれ最も多くなっている。女性の70歳以上では「オレオレ詐欺や架空請求などの振り込め詐欺」が47.8%で最も多くなっている。

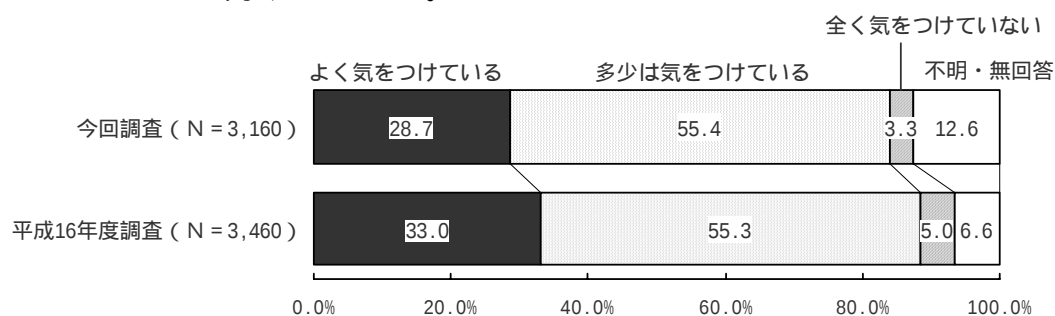
(2) 防犯意識

家庭や身の回りでの防犯意識の有無

問33 あなたは、ふだん、家庭や身の回りで防犯に気をつけていますか。(○ は 1 つだけ)

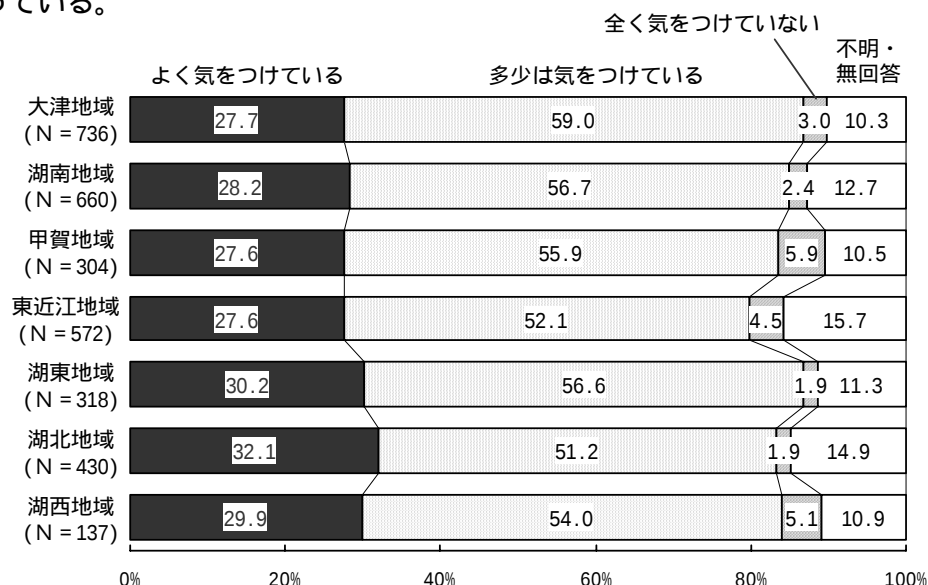
■ 防犯への『注意度』は 84.1%

ふだんの家庭や身の回りでの防犯意識については、「多少は気をつけている」が55.4%で最も多い。これに次いで「よく気をつけている」が28.7%となっており、『注意度』(「よく気をつけている」と「多少は気をつけている」の合計)は84.1%となっている。平成16年度と比較すると、「よく気をつけている」は4.3ポイント低くなっているが、「多少は気をつけている」は0.1ポイント高くなっている。



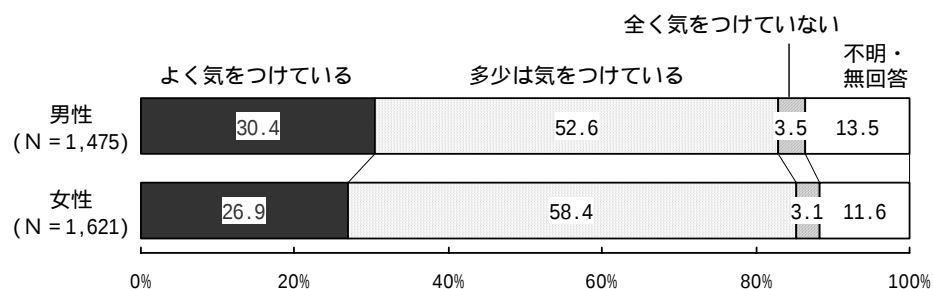
【地域別】

『注意度』は東近江地域を除いて80.0%以上となっており、湖東地域が最も高く86.8%となっている。



【性別】

「よく気をつけている」は男性が女性より3.5ポイント高く、『注意度』は、男女ともに全体の80.0%以上となっている。



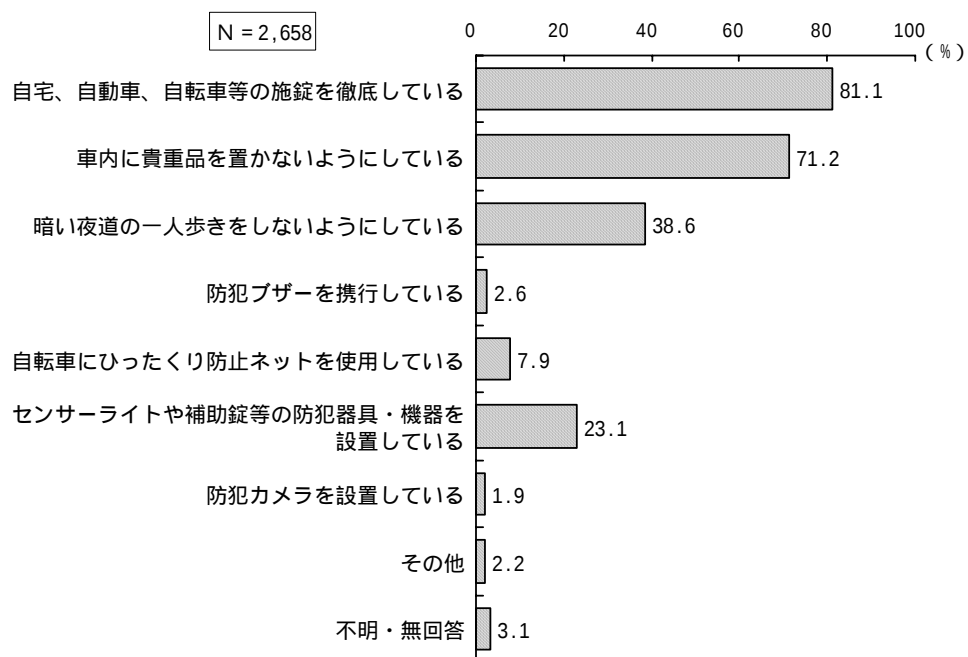
【性・年代別】

『注意度』は、男女ともに40歳代で最も高く、それぞれ90.4%、94.5%となっている。「よく気をつけている」は男女ともに、年代が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上では男性42.4%、女性46.4%と最も高い。

日常生活において防犯のために気をつけていること

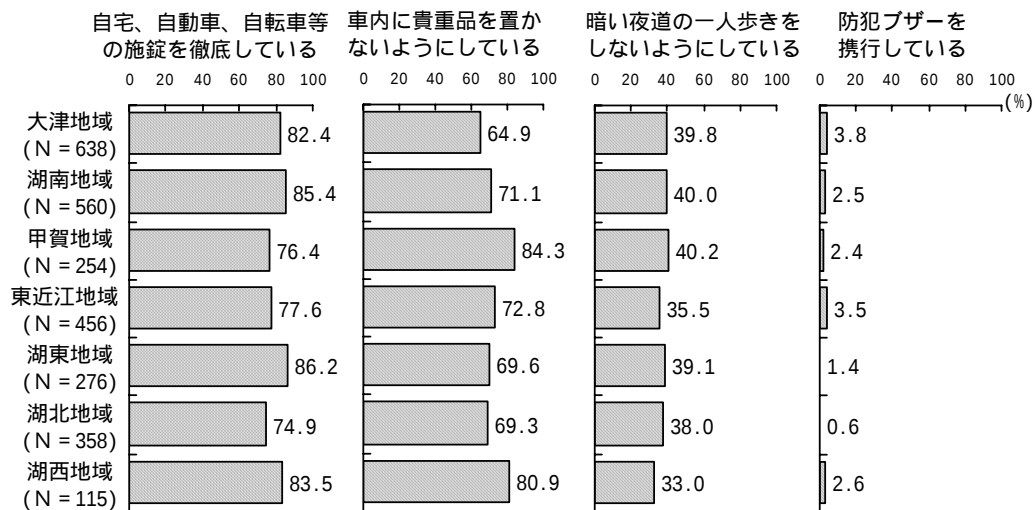
付問1 問33で「1 よく気をつけている」または「2 多少は気をつけている」と回答された方におたずねします。あなたが、具体的に日常生活において防犯で気をつけていることはどんなことですか。(○はいくつでも)

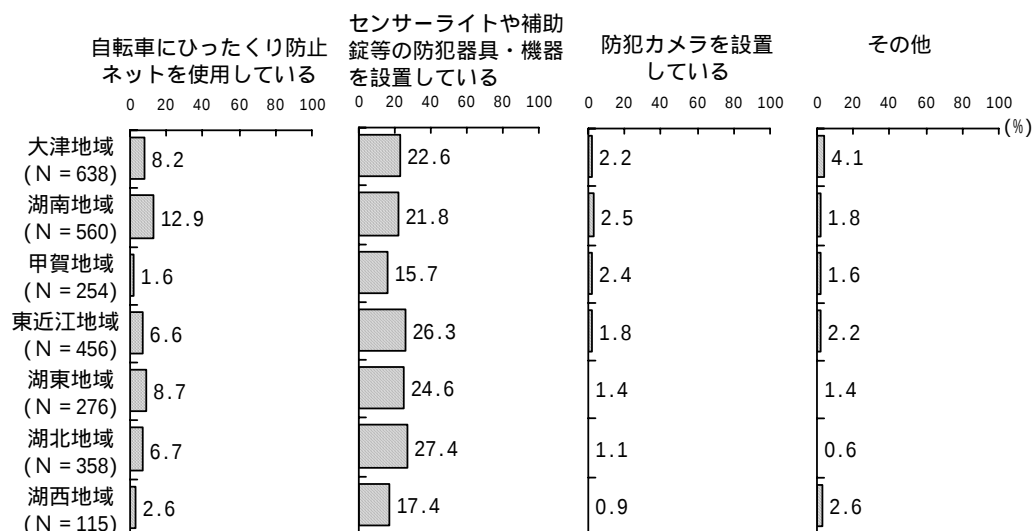
- 防犯に気をつけていることは「自宅、自動車、自転車等の施錠を徹底している」が81.1%
 ふだん、防犯に気をつけている人に具体的に気をつけていることについてたずねると、「自宅、自動車、自転車等の施錠を徹底している」が最も多く81.1%で、次いで「車内に貴重品を置かないようにしている」が71.2%、「暗い夜道の一人歩きをしないようにしている」が38.6%となっている。



【地域別】

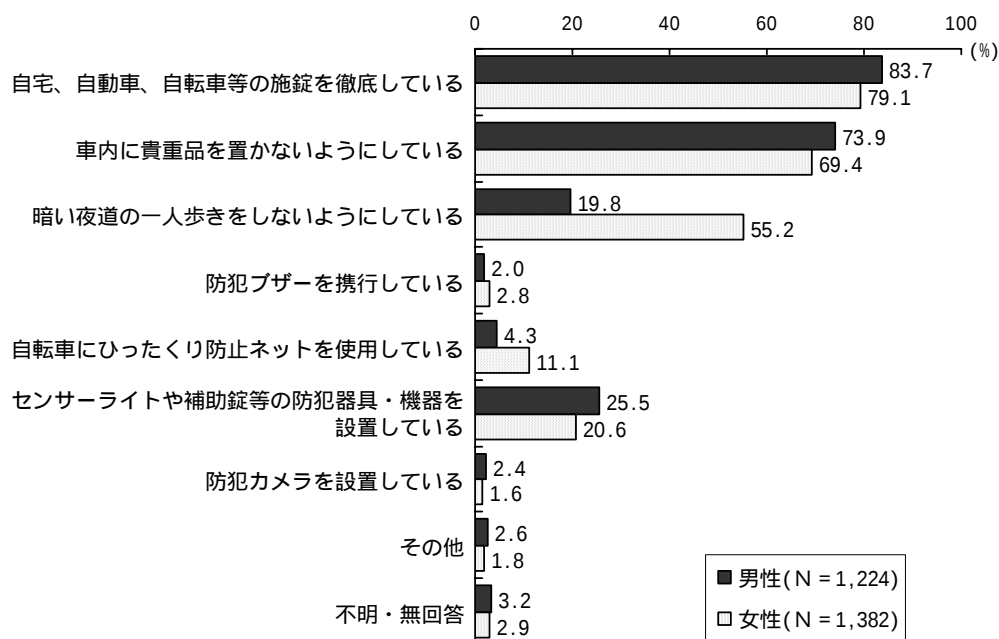
いずれの地域においても「自宅、自動車、自転車等の施錠を徹底している」、「車内に貴重品を置かないようにしている」が上位を占めている。「車内に貴重品を置かないようにしている」は甲賀地域で84.3%、湖西地域で80.9%と、それぞれ他地域より高い割合となっている。





【性別】

男女ともに「自宅、自動車、自転車等の施錠を徹底している」が最も多く、次いで「車内に貴重品を置かないようにしている」となっている。また、女性では「暗い夜道の一人歩きをしないようにしている」が、男性よりも35.4ポイント高い55.2%で3位になっている。



【性・年代別】

男性の全ての年代、女性の20・40歳代、60歳以上で「自宅、自動車、自転車等の施錠を徹底している」が最も多く、女性の30・50歳代では「車内に貴重品を置かないようにしている」が最も多い。また、「暗い夜道の一人歩きをしないようにしている」は女性のいずれの年代においてもかなり男性より高い割合となっている。

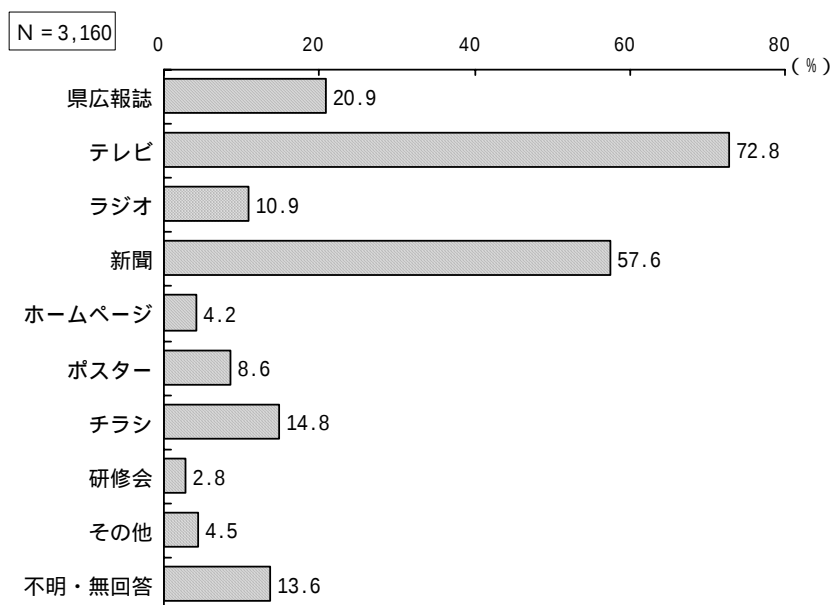
(3) 防犯情報・活動

防犯に関する情報源

問34 あなたは、防犯に関する情報を何で知りますか。(○ はいくつでも)

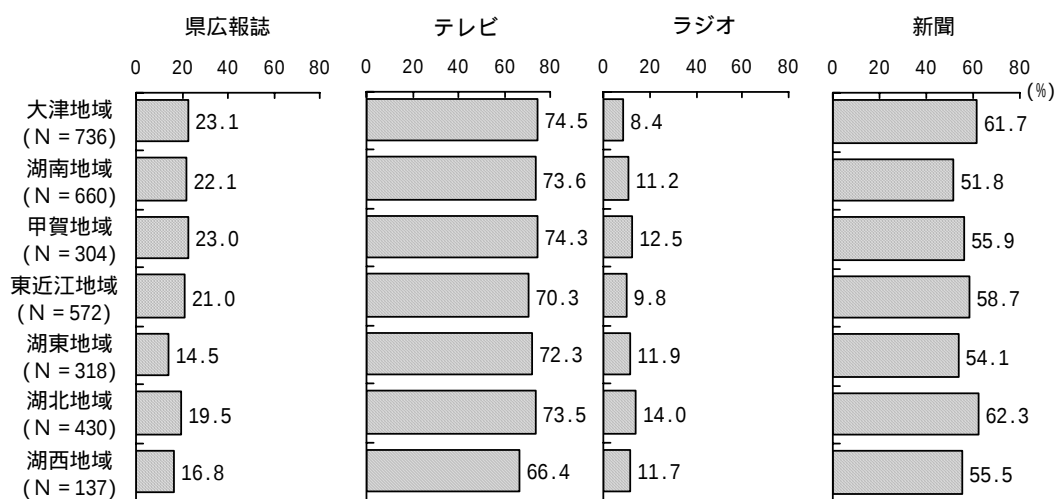
■ 防犯に関する情報源は「テレビ」が 72.8%

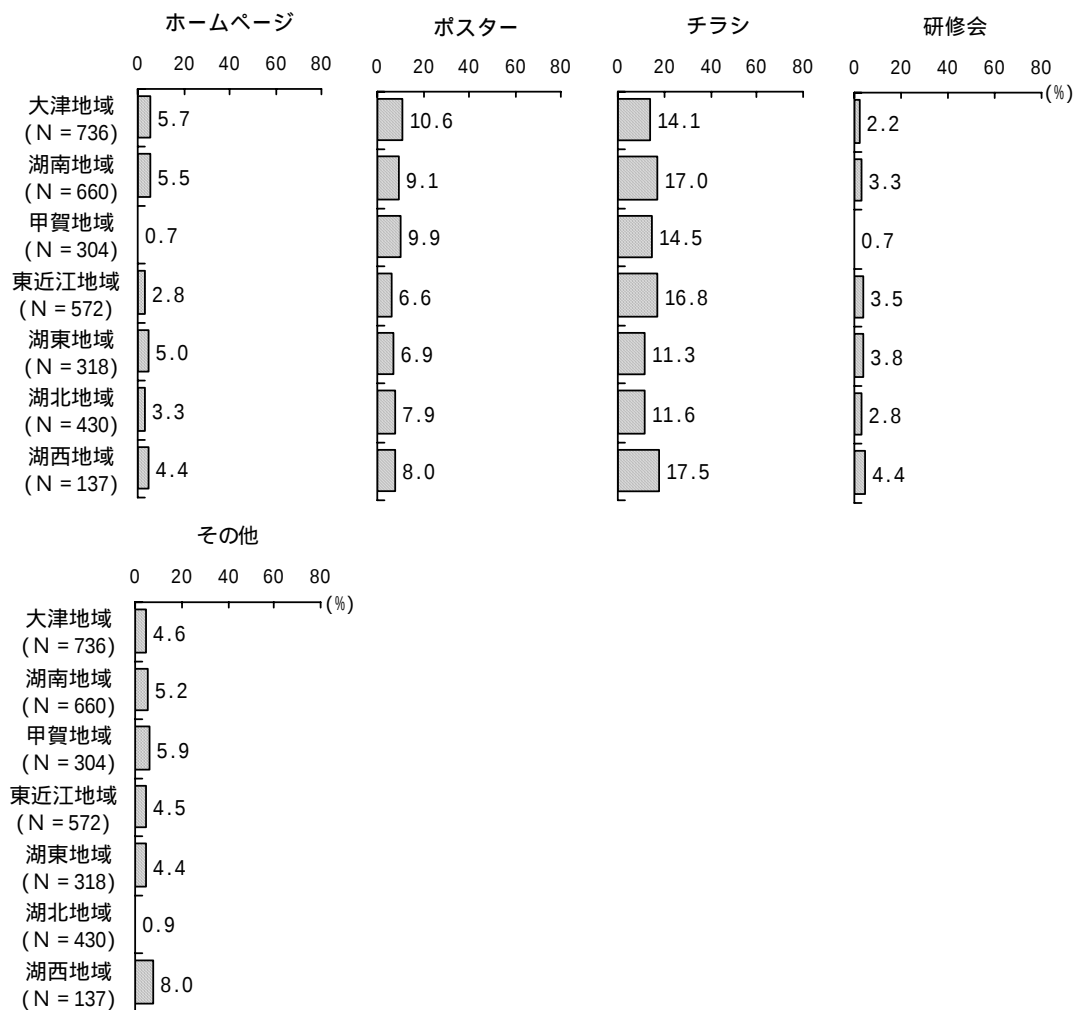
防犯に関する情報源については、「テレビ」が72.8%で最も多く、次いで「新聞」が57.6%、「県広報誌」が20.9%、「チラシ」が14.8%となっている。



【地域別】

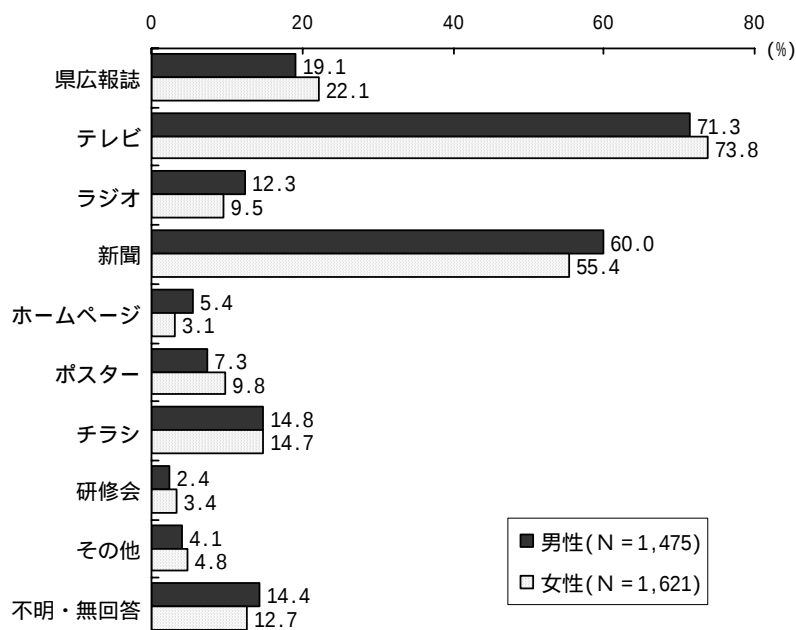
いずれの地域においても、「テレビ」が 1 位、「新聞」が 2 位となっている。





【性別】

男女ともに「テレビ」が最も多く、次いで「新聞」となっている。「テレビ」は女性の方が男性よりやや高く、「新聞」では男性が女性よりやや高くなっている。



【性・年代別】

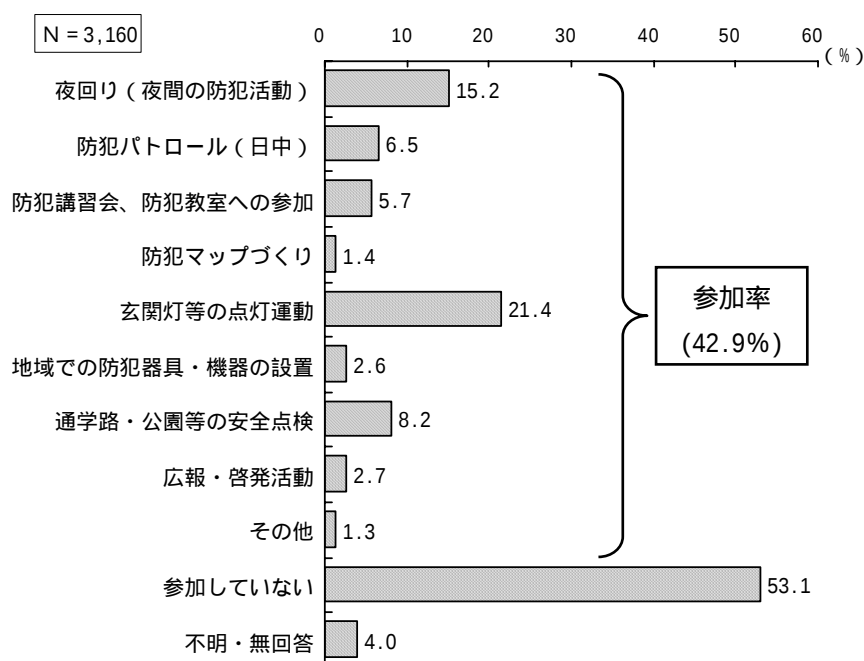
男性の60歳代の除き、男女とも全ての年代で「テレビ」が最も多く、次いで「新聞」となっている。男性の60歳代では「新聞」が最も多く、67.9%となっている。男性の60歳以上と女性の50・60歳代で「県広報誌」が20.0%以上の割合となっている。

参加している防犯活動

問35 あなたはどのような防犯活動に参加していますか。(○はいくつでも)

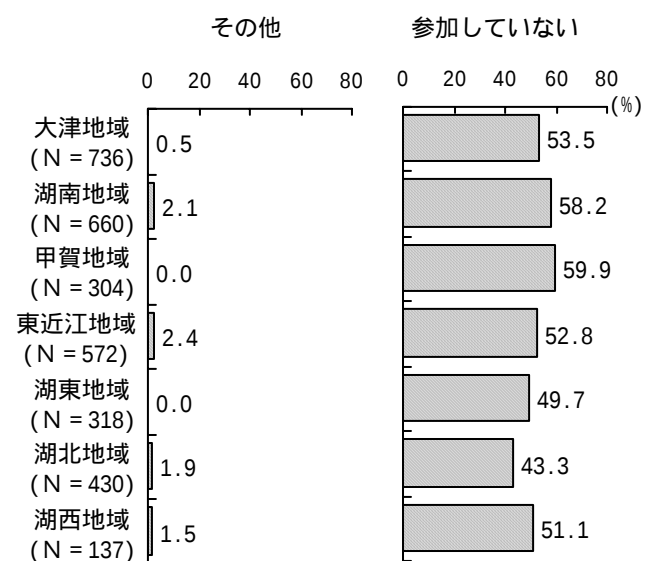
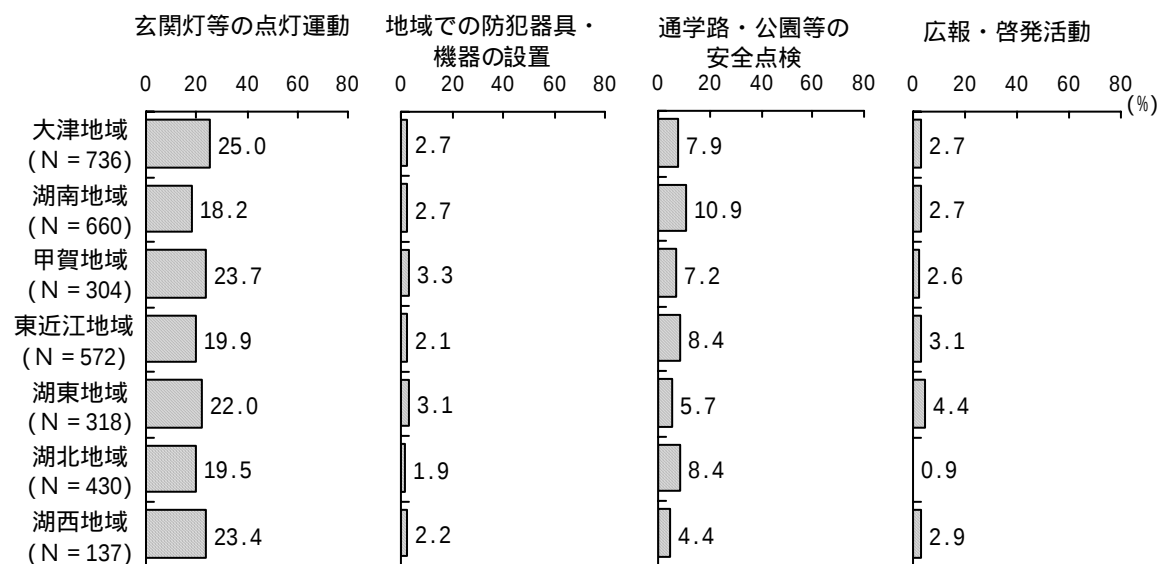
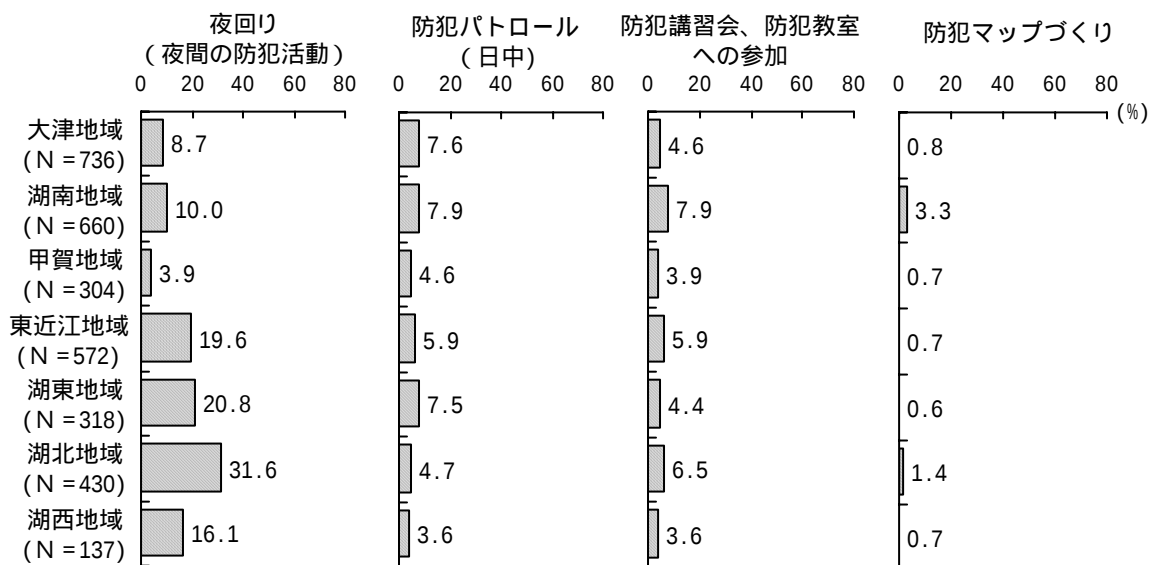
■防犯活動への『参加率』は42.9%

防犯活動に参加している人では「玄関灯等の点灯運動」が21.4%で最も多く、次いで「夜回り(夜間の防犯活動)」が15.2%、「通学路・公園等の安全点検」が8.2%となっており、『参加率』(活動に参加していると回答した人の割合)は42.9%となっている。



【地域別】

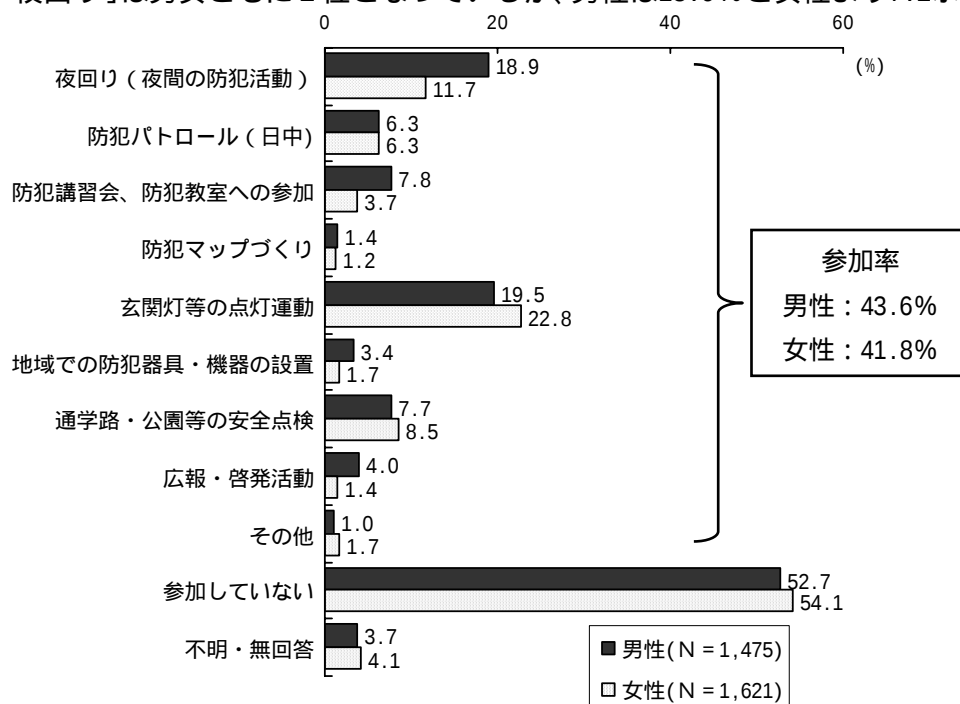
湖北地域においては「夜回り(夜間の防犯活動)」が31.6%と他地域と比べてやや高く、『参加率』は全体の53.5%と過半数を占める。



参加率	
大津地域	41.3%
湖南地域	39.7%
甲賀地域	34.9%
東近江地域	43.7%
湖東地域	44.7%
湖北地域	53.5%
湖西地域	43.8%

【性別】

防犯活動に参加している人では、男女ともに「玄関灯等の点灯運動」が最も多くなっている。「夜回り」は男女ともに2位となっているが、男性は18.9%と女性より7.2ポイント高い。



【性・年代別】

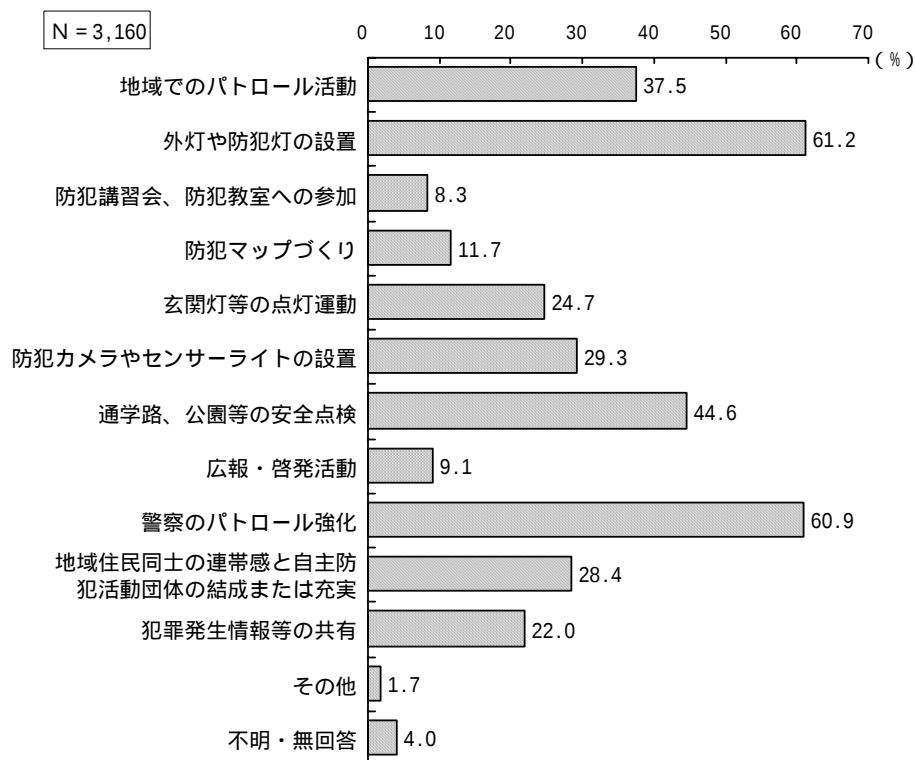
男性の20・30歳代、60歳以上、女性の20歳代、40歳以上で「玄関灯等の点灯運動」が最も多く、女性の50歳代で32.5%、60歳代で30.7%となっている。男性の40・50歳代は「夜回り」がそれぞれ19.7%、21.7%で最も多く、女性の30歳代は「通学路・公園等の安全点検」が15.2%で最も多くなっている。

今後の防犯への取り組みへの要望

問36 あなたが今後望まれる地域での防犯の取り組みは、どのようなものですか。
(○はいくつでも)

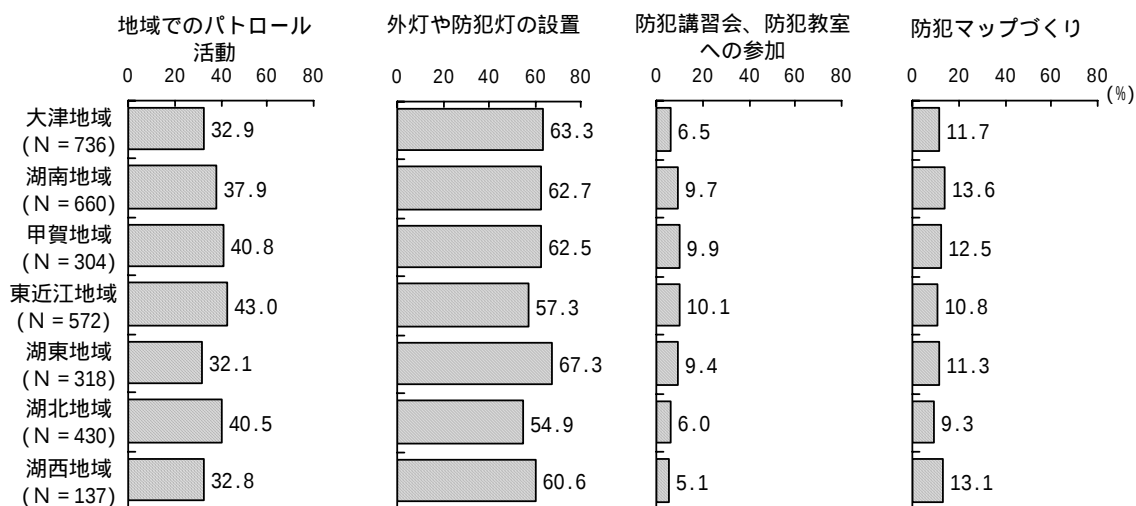
■「外灯や防犯灯の設置」が61.2%

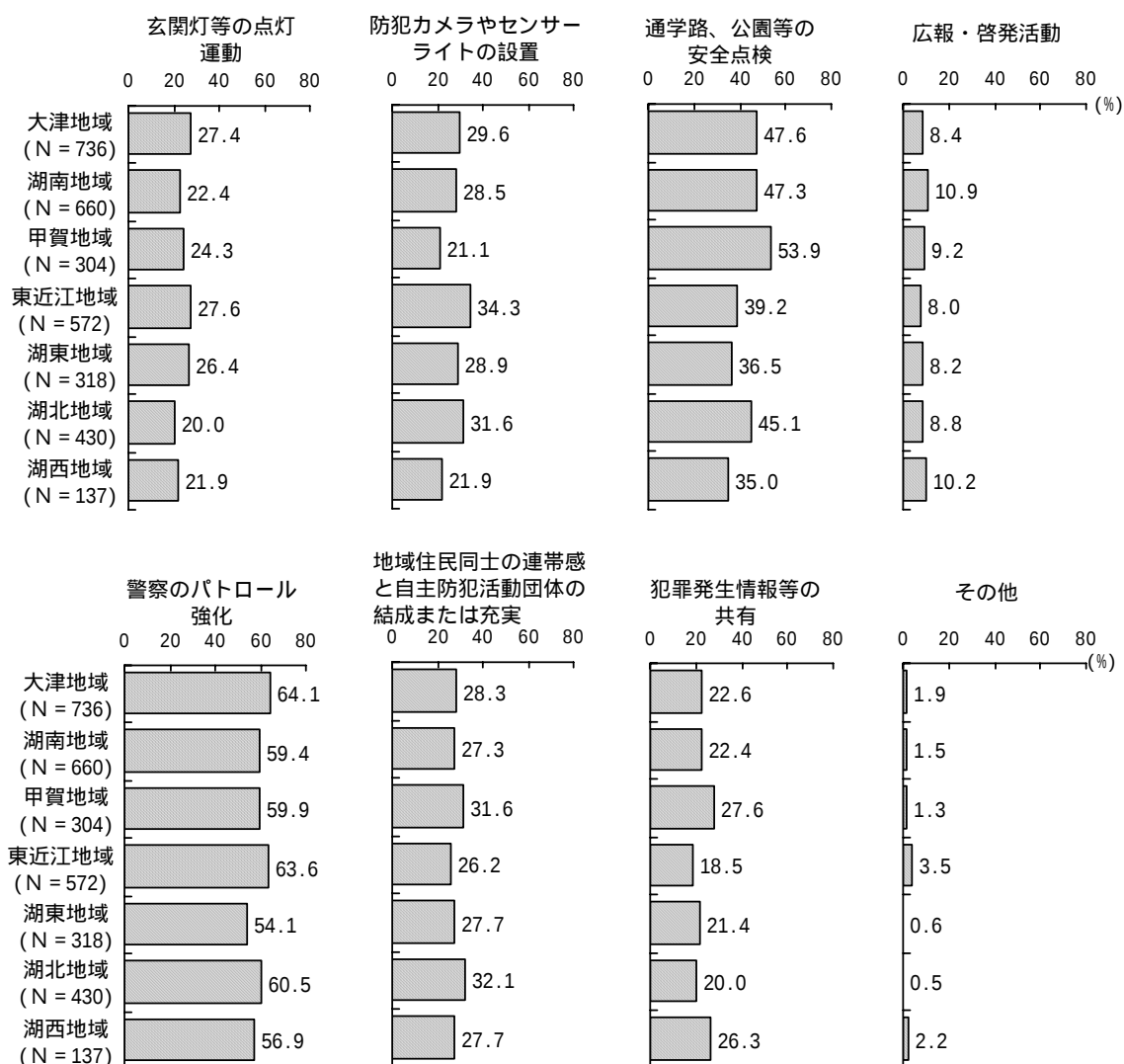
今後望む地域での防犯の取り組みについては、「外灯や防犯灯の設置」が61.2%で最も多く、次いで「警察のパトロール強化」が60.9%、「通学路、公園等の安全点検」が44.6%となっている。



【地域別】

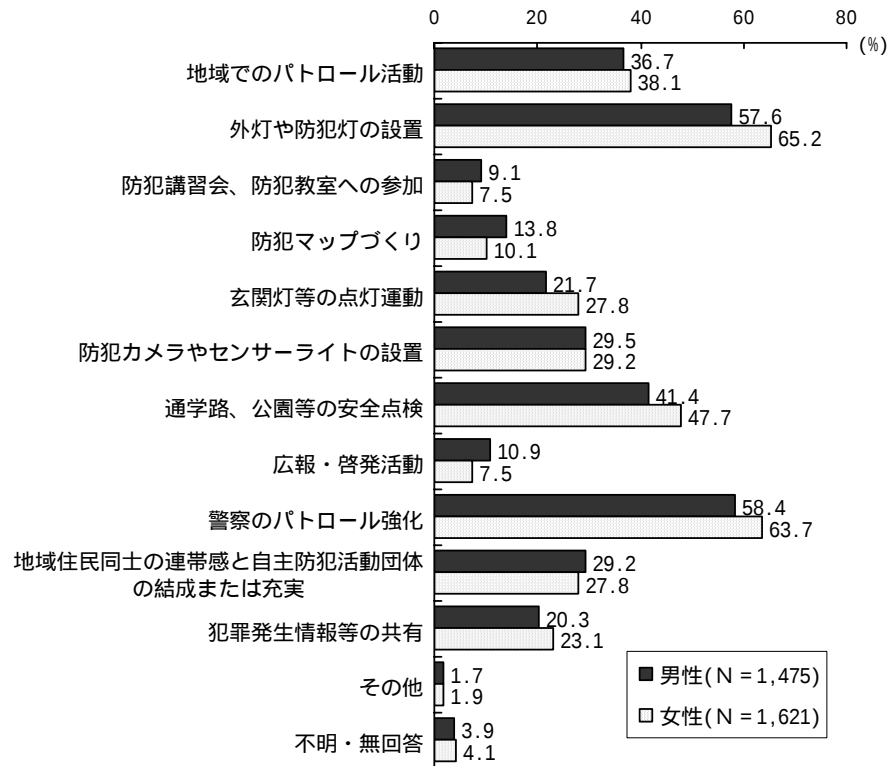
いずれの地域においても「外灯や防犯灯の設置」、「警察のパトロール強化」が多くそれぞれ50.0%以上となっている。「通学路、公園等の安全点検」は甲賀地域で53.9%とやや高くなっている。





【性別】

女性では「外灯や防犯灯の設置」(65.2%)が最も多く、次いで「警察のパトロール強化」(63.7%)となっている一方、男性では「警察のパトロール強化」(58.4%)が最も高く、「外灯や防犯灯の設置」(57.6%)がこれに続いて多くなっている。



【性・年代別】

男性の20～50歳代、女性の30・40歳代では「警察のパトロール強化」が最も高く、男性の60歳以上、女性の20歳代、50歳以上では「外灯や防犯灯の設置」が最も高くなっている。